

2020 関東地方 ARDF 競技大会中止

11月21日(土)に予定していました2020関東地方 ARDF 競技大会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止いたします。

東京都

第25回東京 CW コンテスト

日時 10月25日(日) 06:00~12:00 (JST)

参加資格 国内アマチュア局(移動運用する局も含む)、SWL ※社団局・特別局・特別記念局(以下「社団局等」という)は除く

使用周波数帯 3.5/7/14/21/28/50/144/430MHz帯(JARL コンテスト使用周波数帯による) ※A2A電波による電波はAM/SSB, F2A電波による電波はFMの使用周波数帯となるので本コンテストでは使用不可

参加部門・種目・コード ※注SWLの種目はオールバンド・シングルバンドの区別をしない

部門	種目	都内	都外
電信	オールバンド	1CA	2CA
	3.5MHzバンド	1C35	2C35
	7MHzバンド	1C7	2C7
	14MHzバンド	1C14	2C14
	21MHzバンド	1C21	2C21
	28MHzバンド	1C28	2C28
	50MHzバンド	1C50	2C50
	144MHzバンド	1C144	2C144
	430MHzバンド	1C430	2C430
	SWL	1CSWL	2CSWL

呼出 「CQ TK TEST」

コンテストナンバー ○都内局：シグナルレポートRST + 自局の運用地点を示す市区町村ナンバー ○都外局：シグナルレポートRST + 自局の運用地点を示す道府県ナンバー 例)相手局のRSTが599, 自局の運用場所が八王子市の場合：599002, 自局の運用場所が山梨県の場合：59917 ※都外局同士の交信も有効

禁止事項 ○クロスバンドによる交信 ○2波以上の電波(バンドの異なる場合も含む)の同時発射 ○コンテスト中の運用場所変更

得点, マルチプライヤー [アマチュア局] ○得点 完

全な交信で相手局が都内局：2点, 都外局：1点 ○マルチプライヤー：各バンドで交信した異なる都内の市区町村と道府県数 [SWL] ○得点 完全な交信をした都内局を受信：2点, 都外局：1点 ○マルチプライヤー：各バンドで受信した異なる都内の市区町村と道府県数 注1) 同一バンド内における重複交信は得点やマルチにはならない 注2) SWLは, 注1)の交信を受信と読みかえる 注3) アマチュア局は交信した局の中に社団局等が含まれる場合この交信を得点に計上してよい 注4) SWLは受信した個人局の交信相手に社団局等が含まれる場合この受信を得点に計上してよいが, 逆に社団局等が他の局と交信しているのを受信して得点に計上することはできない

総得点 ○オールバンド：各バンドで得た得点の和×各バンドで得たマルチプライヤーの和 ○シングルバンド：当該バンドで得た得点×当該バンドで得たマルチプライヤーの和

都内JARL登録クラブの得点・順位 都内JARL登録クラブの構成員(個人局)から申告された総得点をクラブごとに計上し, 順位を決定し3位まで表彰。サマリーシートのクラブ対抗欄の登録クラブ番号を正確に記入, クラブ名等のみの場合は対象としない

賞 ○各部門, 種目の書類提出局数に応じて賞状(入賞者はJARL会員)・都内局は各種目の3位まで・都外局は各エリアの参加数に応じ, 10局以下：1位まで11局以上20局以下：2位まで 21局以上：3位まで ○JARL NEWS発表後に賞状を直接本人に郵送。各アワードも同様

書類提出 [紙ログ] ○JARL制定のサマリーシート・ログシート, またはこれと同形式(A4サイズ厳守) ○参加局は, 全部門を通じて1つの種目のみにサマリーシート・ログシートを提出 ○サマリーシートに「コンテスト名称」「参加部門・種目コード」「コールサイン」などを記入 ○郵送提出先：〒166-0012 東京都杉並区和田1-44-8 可児長英 [電子ログ(Eメール)] ○提出先 tokyo-cw@contest.jarl-tokyo.org ○形式はJARL形式に準じるが, 原則としてJARLコンテスト電子ログ・サマリーシート作成ページのVERSION=R1.0とする。全文をメール本文に貼り付けて送信(参考：VERSION=R1.0支部HP「コンテスト規約」「東京都支部主催コンテストログ・サマリー提出用ツール」の項) ○Eメールのsubject(主題：タイトル)は,

地方だより記事の掲載について

- コンテスト規約の中で, 電波法のように当然守らなければならない事柄のほか, 掲載している規約の違反による失格事項などについては, 省略しています。
- 各行事の開催報告などは編集の都合上, 割愛させていただいている場合があります。あらかじめご了承ください。

JARL主催コンテスト使用周波数帯

●各地方コンテストの使用周波数帯の参考として, ご利用ください。

周波数帯	電信
3.5 MHz帯	3.510 ~ 3.530
7 MHz帯	7.010 ~ 7.040
14 MHz帯	14.050 ~ 14.080
21 MHz帯	21.050 ~ 21.080
28 MHz帯	28.050 ~ 28.080
50 MHz帯	50.250 ~ 50.300
144 MHz帯	144.050 ~ 144.090
430 MHz帯	430.050 ~ 430.090

周波数帯	電話
3.5 MHz帯	AM/SSB 3.535 ~ 3.570
7 MHz帯	AM/SSB 7.060 ~ 7.140
14 MHz帯	AM/SSB 14.250 ~ 14.300
21 MHz帯	AM/SSB 21.350 ~ 21.450
28 MHz帯	AM/SSB 28.600 ~ 28.850
	FM 29.200 ~ 29.300
50 MHz帯	AM/SSB 50.300 ~ 51.000
	FM 51.000 ~ 52.000
144 MHz帯	AM/SSB 144.250 ~ 144.500
	FM 144.750 ~ 145.600
430 MHz帯	AM/SSB 430.250 ~ 430.700
	FM 432.100 ~ 434.000

※1200 MHz帯以上の周波数帯については総務省告示の「アマチュア業務に使用する電波の型式及び周波数の使用区別」によるものとする。

提出局のコールサイン(例: JA1***/1など) ○JARL形式に準じない申請書は不可とし、申請書を添付ファイルで提出したものはウィルス対策等に鑑み、書類不備扱い ○サマリー・ログシートにマルチ、得点は必ず記載。記載のないものは書類不備扱い ○電子ログの受付に関し、システム上の問題等によりメールの再送信もしくは郵送での提出をお願いすることがあり、システム上の問題が発生した場合に、やむを得ず電子ログの受付を中止する場合がある。その場合は予めHP上で告知 ○社団局等は参加資格がないため書類提出はできない

締切日 11月15日(日)必着

発表 入賞者はJARL NEWS地方コンテスト結果で発表、全参加者の成績は支部HP (<https://www.jarl-tokyo.org/wp2/>) で発表するが、発表の順序は前後することがある

その他 上記以外のルールは原則としてJARLコンテスト規約に準じる

アワード ○「6 Hours Worked Tokyo 全市賞」, 「同全区賞」「同全郡・島賞」を、本コンテスト時間内に全市(002~030), 全区(101~123), 全郡・島(201~204)の4マルチプレイヤーと401~431のうちの1マルチプレイヤー計5マルチプレイヤー)とそれぞれ完全な交信が成立した局に発行。シングルバンド、マルチバンドの制限はない。特記なし ○申請先はコンテスト関係書類提出先に同じ ○申請方法: サマリーシート下部(意見欄)に「アワードを希望する旨」, 「全市賞」「全区賞」「全郡・島賞」アワードの種別を明記。返信用切手と封筒は不要

※参加証はJARLビューローの業務軽減のため廃止

【市区町村ナンバー】 002八王子市 003立川市 004武蔵野市 005三鷹市 006青梅市 007府中市 008昭島市 009調布市 010町田市 011小金井市 012小平市 013日野市 014東村山市 015国分寺市 016国立市 019福生市 020狛江市 021東大和市 022清瀬市 023東久留米市 024武蔵村山市 025多摩市 026稲城市 028羽村市 029あきる野市 030西東京市 101千代田区 102中央区 103港区 104新宿区 105文京区 106台東区 107墨田区 108江東区 109品川区 110目黒区 111大田区 112世田谷区 113渋谷区 114中野区 115杉並区 116豊島区 117北区 118荒川区 119板橋区 120練馬区 121足立区 122葛飾区 123江戸川区 201瑞穂町 202日の出町 203檜原村 204奥多摩町 401大島町 402利島村 403新島村 404神津島村 411三宅村 412御蔵島村 421八丈町 422青ヶ島村 431小笠原村

国営昭和記念公園アウトドアフェスティバル 2020へ出展

当支部では、国営昭和記念公園が主催するアウトドアフェスティバル2020へ「災害に強いアマチュア無線」と題して出展準備をしています。新型コロナウイルスの感染症予防対策等により当日の行事の変更等があるかもしれませんが支部HP等も確認いただけますようご案内します。昨年はアウトドア・防災・スポーツとさまざまな団体や会社の出展がありました

日時 10月31日(土), 11月1日(日) 10:30~16:00
※11月1日(日) 15:30まで ※荒天中止

場所 国営昭和記念公園「ゆめひろば」東京都立川市緑町3173

問合せ 国営昭和記念公園管理センター ☎045-528-1751 <http://www.showakinen-koen.jp/> 支部HP <http://jarl-tokyo.org/wp2>

第40回東京UHFコンテスト

青少年層の拡大の一助になるようヤング部門を設けております。ぜひ、ご参加ください

日時 11月23日(月/祝) 09:00~15:00 (JST)

参加資格 国内アマチュア局(移動運用する局も含む), SWL ※社団局・特別局・特別記念局(以下「社団局等」という)は除く

使用周波数帯 ○430MHz帯(JARLコンテスト使用周波数帯による) ○1200/2400/5600MHz/10GHz帯は総務省告示のアマチュアバンド使用区別による 注1) A2A電波による電信はAM/SSB, F2A電波による電信はFMの使用周波数帯とする

参加部門・種目・コード 注1)電波型式は自局に許された範囲 注2)SWLの種目はオールバンド・シングルバンドの区分をしない 注3)ヤング部門の局のオペレータはコンテスト開催当日現在の年齢18才以下とし、ゲストオペ、マルチオペでの運用はできないが、青少年の育成という観点を考慮してベテランが付いてのアシストは可。開局年齢を問わない。ヤング部門のオールバンドは430MHz, 1200MHzの2バンドのみ。2400MHzバンド以上にも参加し、得点を計上した場合は、一般部門へのエントリーとみなす。サマリーシートの見解欄に、オペレータの年齢を明記 ※明記なき場合は、一般部門へのエントリー

部門	種目	都内		都外	
		一般	ヤング	一般	ヤング
電 信 電 話	オールバンド	1XA	1YA	2XA	2YA
	430MHzバンド	1X430	1Y430	2X430	2Y430
	1200MHzバンド	1X1200	1Y1200	2X1200	2Y1200
	2400MHzバンド	1X2400		2X2400	
	5600MHzバンド	1X5600		2X5600	
	10GHzバンド	1X10G		2X10G	
	SWL	1XSWL	1YSWL	2XSWL	2YSWL

呼出 ○電信「CQ TK TEST」 ○電話「CQ トウキョウコンテスト」

コンテストナンバー ○都内局: シグナルレポートRS(T)+自局の運用地点を示す市区町村ナンバー ○都外局: シグナルレポートRS(T)+自局の運用地点を示す道府県ナンバー 例)相手局のRS(T)が59(9), 自局の運用場所が江戸川区の場合のコンテストナンバーは59(9)123, 自局の運用場所が鹿児島県の場合は59(9)46 ○都外局同士の交信も有効

禁止事項 ○クロスバンドによる交信 ○2波以上の電波(バンドの異なる場合も含む)の同時発射 ○コンテスト中の運用場所変更 ○レピータによる交信 ○総務省告示のアマチュアバンド使用区別の逸脱

得点・マルチプレイヤー [アマチュア局] ○得点: 完全な交信で相手局が都内局: 2点, 都外局: 1点 [マルチプレイヤー] 各バンドで交信した異なる都内の市

区町村と道府県数 [SWL] ○得点：完全な交信をした都内局を受信：2点 都外局：1点 ○マルチブライヤー：各バンドで受信した異なる都内の市区町村と道府県数 注1) 同一バンド内における重複交信は、電波型式が異なっても得点やマルチにはならない 注2) SWLは、注1)の交信を受信と読みかえる 注3) アマチュア局は交信した局の中に社団局等が含まれる場合この交信を得点に計上してよい 注4) SWLは受信した個人局の交信相手に社団局等が含まれる場合この受信を得点に計上してよいが、逆に社団局等が他の局と交信しているのを受信して得点に計上することはできない

総得点 ○オールバンド：各バンドで得た得点の和×各バンドで得たマルチブライヤーの和 ○シングルバンド：当該バンドで得た得点×当該バンドで得たマルチブライヤーの和

都内JARL登録クラブの得点・順位 都内JARL登録クラブの構成員(個人局)から申告された総得点をクラブごとに計上、順位を決定し3位まで表彰 ※サマリーシートのクラブ対抗欄の登録クラブ番号を正確に記入、クラブ名等のみの場合は対象としない

賞 ○各部門、種目の書類提出局数に応じて賞状(入賞者はJARL会員) ○都内局は各種目の3位まで ○都外局は各エリアの参加数に応じ 10局以下：1位まで 11局以上20局以下：2位まで 21局以上：3位まで ○JARL NEWS発表後に賞状を直接本人に郵送。各アワードも同様

書類提出 [紙ログ] ○JARL制定のサマリーシート・ログシート、またはこれと同形式(A4サイズ厳守) ○参加局は、全部門を通じて1つの種目のみにサマリーシート・ログシートを提出 ○サマリーシートに「コンテスト名称」「参加部門・種目コード」「コールサイン」などを記入 ○郵送：〒166-0012 東京都杉並区和田1-44-8 可児長英 [電子ログ(Eメール)] ○tokyo-uhf@contest.jarl-tokyo.org ○形式はJARL形式に準じるが、原則としてJARLコンテスト、電子ログ・サマリーシート作成ページのVERSION=R1.0とする。全文をメール本文に貼り付けて送信(参考：VERSION=R1.0支部HP「コンテスト規約」「東京都支部主催コンテストログ・サマリー提出用ツール」の項) ○Eメールのsubject(主題：タイトル)は、提出局のコールサイン(例：JA1****/1など) ○JARL形式に準じない申請書は不可とし、申請書を添付ファイルで提出したものはウィルス対策等に鑑み、書類不備扱い ○サマリー・ログシートにマルチ、得点は必ず記載 ※記載のないものは書類不備扱い ○電子ログの受付に関し、システム上の問題等によりメールの再送信もしくは郵送での提出をお願いすることがあり、システム上の問題が発生した場合に、やむを得ず電子ログの受付を中止する場合がある。その場合は予めHP上で告知 ○社団局等は参加資格がないため書類提出はできない

締切 12月15日(火)必着

発表 「東京CWコンテスト」に準じる

その他 前記以外のルールは原則としてJARLコンテスト規約に準じる

市区町村ナンバー 「東京CWコンテスト」参照

アワード 「東京CWコンテスト」参照

※参加証はJARLビューローの業務軽減のため廃止

Report 東京都支部フィールドオンエアデーミーティング2020



去る、2020年8月1日・2日八王子市片倉つどの森公園にて新型コロナウイルスの感染症予防と熱中症予防の対策をおこなうとともにフィールドデーコンテストに合わせたの野外ミーティングを開催しました。

参加者には、検温や消毒と連絡先等のアンケートに協力いただき、約60名の参加がありました。会場では、人との距離をとるソーシャルディスタンスを保つようにして、当支部が企画したイベントを無事に開催することができました。

このアンケートの中で、今回興味を持ったことでは1位：ジャンク市、2位：参加者に会うこと、3位：アンテナ、参加者は都内74%、都外26%でした。ミニミニジャンク市、無線機器展示、地元クラブ等の協力による無線局運用がおこなわれました。参加をされた皆さん、ご協力をいただいた皆さん、ありがとうございます。詳細は、支部HPをご覧ください。http://jarl-tokyo.org/wp2/

今後も当支部では「あたらしい生活様式」に合わせたイベント開催の方法を模索し、ハムライフのお手伝いへと考え実行してまいります。

神奈川県

ニュー・オペレーターズ・セミナー

日時 10月17日(土)10:00~15:00

場所 横浜市こども自然公園(大池公園)パーベキュー広場 〒241-0815 横浜市旭区大池町65-1 <https://yokohamagrill.com/kodomosizen/park/>

交通 ○相鉄線二俣川駅南口(横浜駅から急行で11分)下車、徒歩15分 ○相鉄バス二俣川駅南口から「旭1もしくは旭6系統」で「万騎が原中央」、「万騎が原大池」下車徒歩3分 ○相鉄線「南万騎が原駅」下車、徒歩7分 ○有料駐車場449台(第1駐車場、第3駐車場を利用、第2駐車場は施設の反対側に位置)

内容 ○電波の適正利用について：監査指導委員が電波を正しく利用するためのルールやマナーを分かり易く説明 ○運用のテクニックやマナー：初心者のための日常やコンテストの時の交信テクニックやマナーを模擬交信で紹介、参加者同士での交信など ○楽しみ方：コンテスト、アワード、移動運用などのいろいろ

な楽しみ方を紹介 ○QSLカードやログの書き方 ○無線局免許状の申請方法 ○開局相談などを現役ハムのベテラン講師がわかりやすく解説

対象者 開局したいけれど、分からないことが多い方。もっとハムの楽しみ方を知りたい方。アマチュア無線の免許を取りたい方など、どなたでも参加できます

参加費 JARL会員・非会員とも無料

定員 15名

持ち物等 ○交信体験をおこないますので、免許上使用することができる、430MHz帯のFMが送受信可能で、バッテリーにて動作する無線機、アンテナ、イヤフォン(ヘッドフォン) ○屋外での運用体験をおこないます、動きやすい靴や服装で ○昼食の提供はありません。お弁当等を持参

申込方法 [往復ハガキ]①「セミナー参加希望」と明記、②住所、③氏名、④年齢、⑤電話番号、⑥コールサイン(お持ちの方)を記入 ○〒225-0005 横浜市青葉区荏子田2-6-6 森野富士彦(JF1NEF) ☎090-3089-1541 ※折り返し参加証を送付 [電子メール]件名:セミナー参加希望とし、上記②~⑥の項目を森野宛:jflnef@jarl.com ※折り返しに確認メール(参加証)を送信

締切 往復はがき、電子メールとも、10月9日(金)必着
※事前申込みがない方の受講はできません
※会場案内図、WEBからの申込みは、支部HP <http://www.jarlkn.info/> 参照 ※アクセス方法等を公園や横浜市へ問合せすることは、ご遠慮ください

技術講習会「電波障害対応コモンモードフィルター製作とVNWAでの測定」

日時 10月17日(土)12:00~16:00 ※昼食の準備はしません ※各自昼食を済ませて、開始30分前までに集合

場所 神奈川県立かながわ労働プラザ1階ギャラリート 231-0026 横浜市中区寿町1丁目4番地 <https://www.zai-roudoufukushi-kanagawa.or.jp/1-plaza/>

講師 神奈川県支部技術指導委員長 JH10HZ 片倉由一

定員 最大先着順に15名(コロナウィルス対策のため、定員は当初予定の半数)

会費 JARL会員3,000円、JARL非会員3,500円 ※材料費・教材含む

内容 ※7月12日に開催予定で、延期のイベント ○電波障害とコモンモードフィルターの製作を題材にした

東京都・神奈川県支部合同

アウトドアミーティング2020 in 八王子市

東京都と神奈川県支部との合同野外ミーティングと不用品交換ジャンク市を開催します。新型コロナウイルス禍のため、すべての行事が自粛されている中、十分なソーシャルディスタンスを確保できる八王子市の片倉つどいの森で屋外アイボールを楽しみましょう。

会場内は通常でしたらバーベキューもできる施設で、現在はコロナウィルス感染防止のため自粛中ですが、ご家族でお弁当を持参すれば、広大な敷地の中でピクニックも楽しめます。この機会に、不用品等の有効利用のため、手で眠っている無線機・アンテナ・周辺機器等、もう壊れてしまったけれど、捨てるにはもったいない、そのような大切な思い出の機器を、もう一度活躍させませんか。

東京都支部と神奈川県支部が合同で、ソーシャルディスタンスを十分に確保して新型コロナウイルス感染症予防対策をおこなうことはもちろんですが、秋の日差しの中、ご家族同伴で都会の喧騒から離れ、自然あふれる野外でのアイボールを楽しみましょう。参加される皆さんも、マスク着用のほか、必ず検温を実施し、体温が高い場合や体調不良の場合は参加を自粛する等自己責任で十分な対策をお願いします

日時 10月11日(日)10:00~15:00 小雨決行

場所 片倉つどいの森公園 東京都八王子市片倉町3506番地

アクセス JR横浜線八王子みなみ野駅より徒歩15分(駐車場43台) ※駐車場の台数が少ないため、出展者を優先、一般参加者の皆さんは、公共交通機関、駅周辺の有料駐車場を利用願います ※詳細は、JARL東京都支部、神奈川県支部HP参照

不用品交換ジャンク市出展希望者募集 先着順で定員

になり次第締切。十分なソーシャルディスタンスを確保するため、出展場所は会場管理者(東京都支部、神奈川県支部)が指定 ※事前申込みがない方は出展できません。出展者には優先して駐車場を確保、本件以外の利用者も多いので、駐車場満車の場合は最寄駅周辺の有料駐車場を利用、ご了承ください ○会場内には車両を乗入れている展示はできません、台車等を利用しての運搬 ○出展条件:完動品・不完動品を明確にし、内容、金額がわかるようにする。売残品は必ず持ち帰る。売買の責任は自己責任とし、主催者は一切責任を負えません。危険物の持込はできません。不衛生な汚れ品はお断り。出展費は無料

申込方法 ①コールサイン、②氏名、③連絡先(携帯等)電話番号、④EメールまたはFAX番号、⑤主なジャンク品内容、⑥車両番号・車種・塗色を必ず記入 ○東京都支部:Eメール:jg1dkj@jarl.com [fax]050-1500-2612 東京都支部長 JG1DKJ 澤田 ☎070-5575-3386 ○神奈川県支部:Eメール:jilmka@jarl.com [fax]045-512-7677 神奈川県支部広報委員長 JIIMKA 福井 ☎080-9197-1300 まで

無線局運用 運用に際しては無線従事者免許証等を必ず持参。無資格者の方の運用もできるアマチュア無線体験局も企画

参加費 無料

現地情報 439.66MHz FM JP1YDH レピータ等(09:00頃から)

JARL入会等受付 一般入会・青少年お試し入会(年齢確認書類のコピーを持参)・継続の受付

QSLカード転送受付 ※JARL会員証を持参

現地問合せ先 東京アマチュア無線ネットワーク事務局 武井幸雄 Eメール:jk1xrt@jarl.com

講習を実施。実際の電波障害について学習した後、電波障害に対応するコモンモードフィルターを製作、自分の製作したコモンモードフィルターの性能をVNWA（ベクトルネットワークアナライザー）で測定を実施。自分で製作したコモンモードフィルターの性能・効果等が目で見て分かる講習会です。時間があれば、自作アンテナや小型のメーカー製アンテナをVNWAを使用して測定、アンテナの特性等を測定することも可能。あなたもコモンモードフィルターの製作にチャレンジしてみませんか。ベテランの講師がコモンモードフィルターをキットとして用意、どなたでもメーカー製に匹敵するコモンモードフィルターを簡単に製作することができます

申込み方法 [往復ハガキ] ①「コモンモードフィルター製作・測定講習会参加希望」明記、②住所、③氏名、④電話番号、⑤コールサイン（お持ちの方）を記入 ※折返し受講証を発送 〒225-0005 横浜市青葉区荻子田2-6-6 森野富士彦 ☎045-902-6416 [Eメール] 件名：コモンモードフィルター製作・測定講習会参加希望として、上記②から⑤の項目を、JFINEF 森野：jflnef@jarl.com までメール送信 折り返し参加確認をメールで返信

締切 往復ハガキ、Eメールとも10月9日（金）必着

「かながわアマチュア無線非常通信ネットワーク」ロールコール

恒例のロールコールを、実施します。ステイホームが推奨されており、今年は自宅のベランダ等からのQRVを実行してみましょう。送信出力1W以下の自宅からの運用も移動局とみなして、チェックインを受け付けます。神奈川県内、隣接地域のアマチュア無線局の参加・協力をお願いします。

今回もオペレーション技術向上を図るため、JARL登録クラブからキー局を若干募集し、神奈川県内から運用したいと思います。希望されるJARL登録クラブは、11月20日（金）までに公募の問合せ先まで申込み。運用方法、申込み多数の場合のキー局決定は調整。移動運用をおこなう場合には、必要最小限の人員で、実施場所や機器（特にマイク等）の消毒・アルコール消毒液による手指の洗浄など十分な新型コロナウイルス感染予防策をお願いします

日時 12月6日（日） 10：00～12：00

周波数 432.420MHz付近

モード F3E (FM)

キー局 横浜市、横須賀市、小田原市の各市内、公募したJARL登録クラブ局が運用

公募の問合せ先 〒225-0005 横浜市青葉区荻子田2-6-6 森野富士彦 (JFINEF) ☎090-3089-1541 Eメール：jflnef@jarl.com

新年アイボールパーティー

毎年恒例の新年アイボールパーティーを開催予定です。新春のひとときを楽しく過ごしてみませんか。お楽しみ抽選会などのプログラムを沢山用意して、皆様のご来場をお待ちしています。

今後の新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては中止する場合がありますので、支部HPで確認ください。

中止の判断は、11月中旬に支部HPに掲載。

「新年アイボールパーティー」中止の場合、当日の令和3年1月17日（日）を「神奈川QRVデー」として、当日中に神奈川県内の異なるコールサインの方10局以上と交信（バンド・モード等が異なっても同一コールサインとの交信は不可、呼出し方法や周波数・モード等の指定はしません、通常の一般的な交信）し、ログ（電子ログ・紙ログ等、異なるコールサインの方10局以上と更新したことが分かれば、何でもOK、ログ帳のコピーでも可）を提出した方の中から、抽選で5人の方に防災グッズ等の景品をプレゼント。当選者は、令和3年2月15日ごろに、支部HPに発表し、同時に景品を発送

日時 令和3年1月17日（日）11：00～13：30

場所 県立かながわ労働プラザ（Lプラザ）9階レストラン「味采」 <http://www.zai-roudoufukushi-kanagawa.or.jp/l-plaza/> 〒231-0061 横浜市中区寿町1-4 ☎045-633-5413

交通 JR根岸線石川町駅下車徒歩3分 ※駐車場は限られた台数です。できるだけ、電車・バスを利用ください

参加費 1人3,500円

会場準備の都合上、参加希望の方は、コールサイン、氏名、電話を明記、以下の口座へ、令和2年12月1日から令和3年1月8日（金 厳守）までに参加費を振込み。中止の場合を想定し、振込み前に支部HPを確認。料理手配の関係のため、当日の参加受付はしません。当日参加されない場合でも参加費は返金しません（高校生以下の方の参加は無料、問合せください）※参加費の振込みは開催決定後をお願いします ※当日は、オークションをおこないますのでご協力いただける方は持参ください ※会場ではお酒が提供されますので、飲酒される方はお車の利用を遠慮ください

振込先 郵便振替 JARL 神奈川県支部 口座番号 00290-1-83664

問合せ先 加藤寛治 (7MIMBO) Eメール：7mlmbo@jarl.com

中止の場合神奈川QRVデーを開催。ログは ○郵送：〒225-0005 横浜市青葉区荻子田2-6-6 森野富士彦 (JFINEF) ☎090-3089-1541 ○電子メール：jflnef@jarl.com 森野宛に、令和3年1月31日（日）まで提出 ※郵送は、当日消印有効、メールは当日中のタイムスタンプを有効

かながわハムの集い2020

11月22日（日）実施予定だった「かながわハムの集い2020」については、新型コロナウイルス感染拡大防止と参加者の皆さんの安全を確保するため、今年は中止としますので、ご理解をお願いします。

今後のイベントについて

新型コロナウイルスをはじめとする感染症の予防および拡散防止のため、イベントの実施に際して下記の対応をおこなうことをお知らせします。

参加者並びにスタッフの健康と安全確保のための対策となりますので、ご理解をお願いします

会場の対策 ○机等をアルコール消毒 ○参加人数、今までの半分以下とし、ソーシャルディスタンスの確保

に努めます ○屋内イベントの場合、部屋の換気を頻繁におこないます

運営スタッフの対策 スタッフは日常における体調管理に努め、うがい、手洗い等の感染予防を励行します。

職員がマスクを着用し、来場者の方に対応

イベント参加者へのお願い ○当日出発前に、必ず検温をおこない、体調を確認のうえ、お越ください ○発熱・咳等の症状がみられる方は、参加をお控えください。参加中に体調の変化を感じられた場合は、無理をせずに早めに申し出てください ○イベント参加時には、うがい、手洗い、マスク着用など、ご自身での感染予防にも努めてください ※マスクの用意はありません ○小規模イベントでは、会場受付で非接触体温計にて検温をおこないます。ご協力をお願いします
今後のイベントについて中止・延期になった場合は、HP、SNSでお知らせしますので確認ください

千葉県

第35回オール千葉コンテスト

日時 10月18日(日/第3日曜日) 12:00~18:00

参加資格 日本国内のアマチュア無線局

周波数 136kHz~248GHz(WARCバンドを除く): JARL制定のコンテスト周波数帯、136kHz帯、1200/2400/5600MHz帯、10.1/10.4/24/47/77/135/248GHz帯のアマチュアバンド ※1200MHz帯以上の周波数帯は、総務省告示の「アマチュア業務に使用する電波の型式及び周波数の使用区別」による ※1.9MHz帯は1.9080~1.9120MHz

参加部門

千葉県内・県外	部門	略称(サマリー記入)	
		千葉県内(C)	千葉県外(X)
個人局	電信	マルチバンド	C-CW X-CW
	電話	マルチバンド	C-電話 X-電話
	電信・電話	マルチバンド	C-MIX X-MIX
	電信	136kHz	C-136 X-136
	電信	1.9MHz	C-1.9 X-1.9
	電信・電話	3.5MHz	C-3.5 X-3.5
	電信	7MHz	C-7CW X-7CW
	電話	7MHz	C-7電話 X-7電話
	電信・電話	7MHz	C-7 X-7
	電信・電話	14MHz	C-14 X-14
	電信・電話	21MHz	C-21 X-21
	電信・電話	28MHz	C-28 X-28
	電信・電話	50MHz	C-50 X-50
	電信・電話	144MHz	C-144 X-144
	電信・電話	430MHz	C-430 X-430
	電信・電話	1200MHz	C-1200 X-1200
	電信・電話	2400MHzUP	C-24UP X-24UP
	電信・電話	ジュニア	C-ジュニア X-ジュニア
	電信	QRP	C-QRPCW X-QRPCW
	電信・電話	QRP	C-QRP X-QRP
社団局	電信・電話	社団	C-社団 X-社団

[県内局] ○千葉県内に無線局設置場所、常置場所のあるアマチュア無線局でコンテストにおいて千葉県内で運用するアマチュア無線局 ○県外に常置場所のあるアマチュア無線局でコンテストにおいて、千葉県内に移動して運用するアマチュア無線局 [県外局] コンテストにおいて、千葉県以外から運用するアマチュア無線局 ※個人局はシングルOPに限り、マルチOP

での参加はできない。社団局はこれに限らない ※電信/電話/電信・電話でのマルチバンド/ジュニア部門の使用するバンド(136kHz~2400MHz) ※社団部門は、コンテスト中に運用した者の姓名、無線従事者資格を意見欄に明記 ※ジュニア部門:15歳以下(中学校在学中も含む)はサマリー意見欄に年齢を明記 ※ジュニア・QRP・QRPCW部門は、使用するバンド数に関係なくマルチバンドにエントリーしたこととみなす ※QRP部門:空中線電力5W以下、430MHz帯以下 ※2400MHz UP部門:2400MHz帯以上のマルチバンド

交信相手 ○県内局:すべてのアマチュア局 ○県外局:千葉県内運用局

呼出 [電信]○県内局「CQ CB TEST」 ○県外局「CQ CBX TEST」 [電話]○県内局「CQ千葉コンテスト」 ○県外局「CQ千葉コンテスト(こちらは県外局)」

コンテストナンバー ○県内局:RS(T)+市郡区ナンバー ○県外局:RS(T)+都府県・地域等の番号例)相手局のシグナルレポートが「599」自局の運用場所が千葉県千葉市中央区「120101」:「599120101」

得点 ※県外局同士の交信は得点にならない ※同一バンドで同一局と電信と電話で交信した場合は、それぞれ1回ずつ得点として計上してよい ※同一バンドで同一市郡区と電信と電話で交信した場合はマルチは1(重複カウントに注意) ※得点計算ミスが目立ちますので注意

	県内運用局(自局)の場合	県外運用局(自局)の場合
電信	県内局3点	県外局2点
電話	県内局2点	県外局1点

マルチブライヤー ○県内局:異なる都府県・地域等の番号、千葉県内の異なる市郡区の数 ○県外局:千葉県内の異なる市郡区の数

総得点 ○シングルバンド:そのバンドで得た得点の和×そのバンドで得たマルチの和 ○マルチバンド:各バンドで得た得点の和×各バンドで得たマルチの和

提出書類 ○JARL制定(A4サイズのみ受付)ログ・サマリー(同形式・コピー可) ○書類は1部門のみ提出 ○JARL所定様式の電子ログによる提出も可能 ○得点計算上バンドごとに電信・電話のログを分けてよい ※マルチの重複がないように必ずチェックをして提出

千葉県内登録クラブ対抗(12-××-××のみ) ○JARL千葉県支部登録クラブに所属の個人局から申告された総得点をクラブごとに集計し、上位の登録クラブを表彰 ○登録クラブ対抗参加局はサマリーの登録クラブ欄に登録クラブ番号、登録クラブの名称を記載

ログ提出先 [紙ログ]〒260-8799 千葉支店 郵便私書箱第28号 (一社)日本アマチュア無線連盟 千葉県支部 [電子ログ(Eメール)] chiba-test@jarl-chiba.info に送信 ○テキスト形式でのメールの本文とするか、添付ファイルとして送信、サマリーシート、ログシートをつなげた1本のメールとし、途中で分割されたメールは受け取れない ○電子メールの件名には、コールサイン・参加部門(略称)を記入 例)JJ1UIB-C7電話 ○ログを受理した後、返信メールを送ります。必ず確認
コンテストに関する問合せ先 SASE(上記の紙ログ提出先)または chiba-test@jarl-chiba.info

締切 11月8日(日)(郵便:当日消印有効)

表彰 ○各部門の入賞者のJARL会員局に対し賞状 ○
県内局、県外局(関東在住)表彰は翌年のちばハムの
集いでおこない、当該局にはその旨(2月上旬頃まで)
連絡(県外局で関東在住以外も希望により表彰) ○
ちばハムの集い欠席者、県外局への発送は、ちばハム
の集い終了後の予定

入賞基準 原則として参加局5局以下:1位のみ、6から
10局:2位まで、11から15局:3位まで、16から20局:
4位まで、21局以上:5位まで

禁止事項 ○バンドプランやコンテスト指定周波数、免
許範囲から逸脱した運用、法から逸脱した運用 ○ク
ロスモード・クロスバンド・レピータ交信 ○シング
ルOPの2波以上の同時電波発射 ○マルチOPの複
数地点での運用 ○同一バンドでの2波以上の同時発
射 ○コンテスト中の運用地点の変更(コンテストナ
ンバーが変わらない範囲での移動は認める) ○許可
が必要な場所(東京湾アクアラインの人工島(海ほたる
PA)や公共施設(公園)等)において、無許可で移動運
用し、本コンテストに参加することを禁止 ○クラス
ター等の自己スレッドを禁止

失格事項 ○同一局の2部門への書類提出 ○規約違反
○重複交信計上 ○サマリーシート等虚偽の記載

結果発表 JARL NEWS(入賞者のみ)、支部HP (<http://www.jarl-chiba.info/>)等 ※今回2400MHz部門と
5600MHz部門を統合し2400MHz以上部門としました

埼玉県

登録クラブ代表者・役員・監査指導員 合同会議

開催日 11月29日(日)

場所 総合福祉センター「はあとびあ」会議室 朝霞市
浜崎51-1 ☎048-486-2475

※マスクの持参と着用をお願いします ※新型コロナ感
染拡大状況により、書面会議またはWEB会議に変更
する場合があります。支部HPで確認をお願いします

2020さいたまハムの集い

開催日 12月6日(日)

場所 朝霞市中央公民館・コミュニティセンター 朝
霞市青葉台1-7-1 ☎048-465-7272

内容 ○防災をテーマに自治体・支部・登録クラブの出
展、講演 ○アマチュア無線公開運用 ○ジャンクバ
ザー(埼玉県登録クラブ限定) ○イベント「パイル
アップコンテスト」(予定) ○その他

※来場にはマスクの持参と着用をお願いします ※新型
コロナ感染拡大状況により中止する場合があります。
10月頃最終判断し、支部HPで案内します

第39回オール埼玉コンテスト

日時 2021年1月11日(月/祝)09:00~15:00(JST)

参加資格 日本国内(陸上)のアマチュア局、SWL(ア
マチュア局の電波を受信する個人をいう)

使用周波数帯 ○3.5/7/14/21/28/50/144/430MHz帯:
JARL主催コンテスト使用周波数帯 ○1200MHz帯:
総務省告示「アマチュア業務に使用する電波の型式及
び周波数の使用区別」による(注1)A2A電波による
電信はAM/SSB、F2A電波による電信はFMの使用

周波数帯(注2)51.000MHzは、FMの使用周波数帯

参加部門 ○県内電信電話の部:埼玉県内で運用 ○
県外電信電話の部:埼玉県外で運用

種目・コードナンバー ※1:HFバンドは、3.5/7/14/
21/28MHz帯を使用 ※2:V/UHFバンドは、
50/144/430/1200MHz帯を使用

種目	コードナンバー	
	県内	県外
シングルオペ	オールバンド	S-SA X-SA
	3.5MHzバンド	S-S35 X-S35
	7MHzバンド	S-S7 X-S7
	14MHzバンド	S-S14 X-S14
	21MHzバンド	S-S21 X-S21
	28MHzバンド	S-S28 X-S28
	50MHzバンド	S-S50 X-S50
	144MHzバンド	S-S144 X-S144
	430MHzバンド	S-S430 X-S430
	1200MHzバンド	S-S1200 X-S1200
	HFバンド(※1)	S-SHF X-SHF
	V/UHFバンド(※2)	S-SVU X-SVU
	SWL	S-SWL X-SWL
マルチオペ	オールバンド	S-MA X-MA

県内登録クラブ対抗部門(新設) JARL登録クラブの構
成員(マルチオペ局1局ならびにSWLを除くシング
ルオペ局)から申告された総得点をもって登録クラブご
とに順位を決定 ※登録クラブ番号を明記しないもの
は集計対象外

交信相手局 ○県内局:埼玉県を含む全国内局 ○県
外局:埼玉県内局に限る

呼出 [電話]○県内局「CQ埼玉コンテスト」○県外
局「CQ埼玉コンテスト(こちらは県外局)」[電信]○
県内局「CQ ST TEST」○県外局「CQ STX TEST」
コンテストナンバー ○県内局:RS(T)+市区町村ナ
ンバー(例)比企郡ときがわ町:59 130089 ○県外
局:RS(T)+都府県・地域等のナンバー

交信上の禁止事項等 ○クロスバンドによる交信 ○コ
ンテスト中の運用場所の変更 ○シングルオペの同一
または異なるバンドにおける2波以上の電波の同時発
射 ○マルチオペの同一バンドにおける2波以上の電
波の同時発射 ○レピータによる交信 ○コールサイ
ンもしくはマルチプレイヤーを受信信号の周波数情報
とともにオペレーターに知らせるあらゆる技術、たと
えばWebクラスター、CWスキマー、リバーズビーコ
ンネットワークの使用を認める ○自局の運用情報を
Webクラスターにアップロードするセルフスポッティ
ングやスポットを依頼する行為 ○リモート運用は、
すべてのアンテナ、送信機、受信機がひとつの所在地
に取まっている場合のみ許される。すべてのリモート
運用局は、局免許、オペレーター免許、該当参加
部門のルールに従うこと ○送信機、受信機、アンテ
ナを設置した無線局の所在地外に位置するリモート受
信機の使用 ○コンテスト終了後に、データベースや
録音、電子メールまたはその他の手段を使って交信ロ
グを作ったりあるいは交信を確認したり、コールサイ
ンやナンバーを修正すること ※手書きログを電子ロ
グ化する作業は、これに含まれない ○一つのコール
サインで複数の部門・種目にログを出すこと ○一人
のオペレーターが複数の異なるコールサインで運用し、

それぞれのコールサインでログを提出すること

得点 ○アマチュア局：コンテストナンバー交換が完全にされた交信を得点とし、モードによりそれぞれ電信・電信：2点 電話・電話(電信)：1点 ※次の場合は得点とならない・県外局どうしの交信・同一バンドにおける重複交信(同一局との2回以上の交信) ※同一バンドではモードが異なっても任意の1交信のみ有効 ○SWL：送信、受信局の識別信号(呼出符号、コールサイン)ならびに送信局のコンテストナンバーの完全な受信を1点 ※次の場合は得点とならない・県外局どうしの交信の受信・県外のSWLが県外局の送信を受信した場合・同一バンドにおける重複受信(同一局を2回以上受信) ※同一バンドではモードが異なっても1受信のみ有効

マルチプレイヤー [アマチュア局] ○県内局：完全な交信をおこなった異なる都府県・地域等の数、埼玉県内の市区町村数 ○県外局：完全な交信をおこなった異なる埼玉県内の市区町村数 [SWL] ○県内：完全な受信をおこなった送信局の異なる都府県・地域等の数、埼玉県内の市区町村数 ○県外：完全な受信をおこなった送信局の異なる埼玉県内の市区町村数

総得点 ○シングルバンド：当該バンドにおける得点の和×当該バンドで得たマルチプレイヤーの和 ○マルチバンド：各バンドにおける得点の和×各バンドで得たマルチプレイヤーの和

書類の提出 ○JARL制定のサマリーシート、ログシート(または同形式のもの)を使用。Eメールによる提出も受け付ける ○サマリーシートの・コンテストの名称：オール埼玉コンテスト・参加部門および種目など コードナンバー欄：コードナンバーを記入 名称欄：県内・県外の別、参加した種目 ○書類の提出は1種目のみ ○マルチオペ部門に参加のかたは、オペレーターリスト(コールサインもしくは氏名)をサマリーシートの意見欄等に明記 ○入賞対象局については、交信(受信)時に記入したログの提出を求めることがある

提出締切日 2021年1月25日(月)消印有効

書類提出先 ○郵送：〒341-0021 埼玉県三郷市さつき平1-4-1-102 高橋 取 埼玉コンテスト係 ○Eメール：jarl.saitama@gmail.com

電子ログによる受付 電子ログ形式はJARL制定の形式のみ受け付け。サマリーの形式は、バージョンR1.0またはR2.0のどちらでも可能 ※それ以外の形式は一切受け付けません。詳細は(http://www.jarl.org/Japanese/1_Tanoshimo/1-1_Contest/e-log.htm)を参照

個人情報の利用について JARL埼玉県支部は、個人情報取得した際の利用目的の範囲内でJARL埼玉県支部の実施するコンテスト業務遂行(集計・審査・表彰)のために利用します

受付状況 <http://www.jarl.com/allst/>に掲載

賞 各種目の書類提出局には、参加局数に応じて、次の順位のJARL会員局に賞状・参加局が10局以下：1位のみ・11局以上20局以下：2位まで・21局以上30局以下：3位まで・31局以上：5位まで・埼玉県内登録クラブ対抗：3位まで ○書類提出した希望する局には参加証明証を送る・書類提出先に定型封筒(はがきサイズの用紙が入る大きさに限る)に、84

円切手を貼り付け、送付先の住所、名前、コールサインを記載して郵送・参加証明証の受付は、2021年7月31日(消印有効)とする

失格事項等 次の場合は失格 ○ログシートに記載されている交信または受信局のコールサイン等について審査の結果、明らかに虚偽の記載が認められた場合 ○この規約に定める事項に違反した場合 ○その他・JARLコンテスト規約に準じる・JARLが開設する局(特別記念局や特別局など)は、チェックログ ※JARL以外が開設する記念局などは、一般の局と同様に扱う

結果発表 支部のWEBで公開(予定)、入賞者については、JARL NEWS 2021年夏号にも掲載

問合せ先 不明な点がありましたら電子メールにて(jarl.saitama@gmail.com)

【市区町村ナンバー】 [市区] 川崎市1302 熊谷市1303 川口市1304 行田市1306 秩父市1307 所沢市1308 飯能市1309 加須市1310 本庄市1311 東松山市1312 春日部市1314 狭山市1315 羽生市1316 鴻巣市1317 深谷市1318 上尾市1319 草加市1321 越谷市1322 蕨市1323 戸田市1324 入間市1325 朝霞市1327 志木市1328 和光市1329 新座市1330 桶川市1331 久喜市1332 北本市1333 八潮市1334 富士見市1336 三郷市1337 蓮田市1338 坂戸市1339 幸手市1340 鶴ヶ島市1341 日高市1342 吉川市1343 <さいたま市>西区134401 北区134402 大宮区134403 見沼区134404 中央区134405 桜区134406 浦和区134407 南区134408 緑区134409 岩槻区134410 ふじみ野市1345 白岡市1346 [町村] ○入間郡 越生町130012 三芳町130014 毛呂山町130015 ○大里郡 寄居町130026 ○北足立郡 伊奈町130031 ○北葛飾郡 杉戸町130043 松伏町130044 ○児玉郡 上里町130062 美里町130063 神川町130064 ○秩父郡 小鹿野町130072 長瀨町130073 東秩父村130074 横瀬町130075 皆野町130079 ○比企郡 小川町130081 川島町130082 滑川町130084 鳩山町130085 吉見町130086 嵐山町130087 ときがわ町130089 ○南埼玉郡 宮代町130093

茨城県

2020茨城ARDF競技大会中止

11月22日(日)に予定していました2020茨城ARDF競技大会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止いたします。

群馬県

群馬ハムの集いを中止します

12月6日(日)に開催を予定していた群馬ハムの集いは、「3密」状態が避けられず新型コロナウイルス感染症拡大が危惧されるため中止します。

山梨県

第35回県民の日記念公開運用

日時 11月15日(日) 10:00~15:00

会場 小瀬スポーツ公園内

運用局 山梨県支部社団局 JE1ZRL

周波数 7/10/21/144/430MHzを予定

○運用希望の方は必ず、無線従事者免許証とJARL会員証を持参 ○新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては「県民の日」関連行事が中止される場合があります。その場合、記念公開運用も中止。開催につきましては支部HPで案内、確認をお願いします

第57回山梨地区非常通信訓練コンテスト

開催日時 11月23日(月/祝)06:00~09:00

参加資格 山梨県内のアマチュア局 ※山梨県内のアマチュア局とは山梨県内に在住するアマチュア局 ※当日のみ県外から移動して運用した局は含まれない

使用周波数帯 ○7MHz帯(7.060~7.070MHz) ○21MHz帯(21.380~21.400MHz) ○28MHz帯(28.700~28.750MHz, 29.200-29.300MHz) ○50MHz帯(50.400~51.500MHz) ○144MHz帯(144.350~144.500MHz, 144.750~145.600MHz) ○430MHz帯(430.250~430.700MHz, 432.100~432.800MHz) ○1200MHz帯(1294.20~1294.30MHz, 1295.20~1295.30MHz)

電波型式 電話(FM, AM, SSB)のみとし、各周波数帯での電波型式は電波法に定める使用区分に従う

参加部門 ○シングルオペ、シングルバンドの部 ○シングルオペ、マルチバンドの部 ○ニューカマーの部 ○マルチオペ、マルチバンドの部 注1) シングルオペはコンテスト中の運用に関わるすべてのことを一人おこなう 注2) シングルバンドは1つの周波数帯で運用 注3) マルチバンドは2つ以上の周波数帯で運用 注4) ニューカマーは初めて局を開設した個人局で、免許年月日が2016年11月23日以降に免許された局 注5) ニューカマーの部にはシングルバンド、マルチバンドの区別はない 注6) マルチオペの一員として参加した者はシングルオペとして参加することはできない

JARL登録クラブ対抗 JARL登録クラブ(山梨県支部の登録クラブに限る)の構成員、マルチオペ1局ならびにシングルオペ局から申告された総得点をもって登録クラブごとに順位を決定

呼出「CQ山梨OSOコンテスト」

コンテストナンバー ○「クンレン」を前置 ○RS符号による相手局のシグナルレポート ○自局の運用場所を示す市町村名 ○電文「異常なし」例) 相手局のシグナルレポートが「59」、自局の運用場所が「甲府市」、 「クンレン 59 甲府市 異常なし」

交信上の禁止事項 ○クロスバンドによる交信 ○コンテスト中の運用場所の変更 ○シングルオペの同一または異なるバンドにおける2波以上の電波の同時発射 ○マルチオペの同一バンドにおける2波以上の電波の同時発射 ○マルチオペの複数地点からの運用 ○V/UHF帯における「呼出周波数」での電波の発射

得点・マルチプライヤー 参加資格のある局との交信を有効 [得点] 連絡設定後、「交信方法」に定めるコンテストナンバーの交換が完全にされた交信を1点 ※同一バンドにおける重複交信(同一局との2回以上の交信)は1交信を除き、電波型式が異なっても得点としない [マルチプライヤー] 完全な交信をした相手局の運用場所を示す異なる市町村の数 ※バンドが異なれば同一市町村でもマルチプライヤー

総得点 ○シングルバンド: 当該バンドにおける得点の和×当該バンドで得たマルチプライヤーの和 ○マルチバンド: 各バンドにおける得点の和×各バンドで得たマルチプライヤーの和

書類の提出 ○JARL制定のサマリーシート、ログシート(または同形式) ※部門に応じて、次のとおり ・マルチオペ: 運用した者の全員の氏名、無線従事者資格をサマリーシート意見欄に明記、ログシートには交信ごとに運用した者の氏名を記入 ・ニューカマー: 免許年月日をサマリーシート意見欄に明記 ○書類は種目のうち、いずれか1種目のみに提出 ○JARL登録クラブ対抗に参加する場合、登録クラブ番号、または名称をサマリーシートに記入 ○入賞対象者について、必要に応じて資料等の提出を求める場合がある

提出締切日 12月12日(土)到着分まで

提出先 ○郵送: 〒400-0026 甲府市塩部1-5-11 竹田泉方 第53回山梨地区非常通信訓練コンテスト担当宛 ○Eメール: jr1ety@jarl.com

備考 サマリーシートとログシートが必要な方は上記まで84円切手を貼付した返信用封筒を同封し請求または支部HP (<http://www.jarl.com/yamanasi/>) からダウンロード

賞 ○各種目の入賞者1~3位に対して賞状 ○書類提出者全員に参加賞

失格事項 次の事項は、失格 ○同一バンドにおいて、重複する交信局数がログシートに記載されている交信局数の2%を超えておりかつ、その重複する交信を得点としている場合 ○提出書類に記載されている内容について審査の結果、明らかに虚偽の記載が認められた場合 ○この規約に定める事項に違反した場合 ○電波法に違反しての運用が認められた場合

結果発表 JARL NEWS2021年春号(予定)、支部HP 異議申し立て コンテスト結果に対する異議申し立ては、結果発表が掲載されたJARL NEWS発行月の末までに、支部事務局に対しておこなうことができる

表彰 各種目の入賞者は2021年度の「ハムの集い」席上に表彰

その他 本コンテストに関する質問は書類提出先まで郵便またはEメールにて

2エリア

東海地方

地方本部

第45回東海マラソンコンテスト

※前回からの修正: ○社団種目への参加は、運用者が1名であってもマルチオペリストが必須であることを明記 ○コンテスト使用周波数はJARLコンテスト使用周波数帯に限定しないことを明記 ○電子ログの提出は、基本的にWeb提出のみ。どうしてもWeb提出できない場合は、提出締切日までに書面を郵送

期間 11月1日(日)00:00~7日(土)24:00(JST)

資格 日本国内の陸上で運用するアマチュア局・SWL

交信(受信)相手 ○2エリア内の局(以下管内局)、D-STARレピータ部門に参加する局: 日本国内の陸上で運用するアマチュア局 ○2エリア外の局(以下管外局): 2エリア内の陸上で運用する局に限る ○

SWL：管内・管外を問わず2エリア内の陸上で運用する局に限る

使用周波数帯 50MHz帯以上で自局に許可された周波数帯 ※JARL コンテスト使用周波数帯に限定しない
部門・種目・コードナンバー ※D-STARはDVモードによる音声(電話)のみの交信 ※D-STARレピータ利用部門の各種目への参加は、D-STARデジタルレピータを使用するものとし、ターミナルモードやアクセスポイント等を使用しない(参考：D-STARデジタルレピータ開設状況 <http://www.jarl.com/d-star/replist.pdf>) ※個人電話の各種目への参加は電話またはD-STARによる交信 ※個人電信電話の各種目への参加は電信と電話(またはD-STAR)の両方で交信していること。電信のみ、電話のみ、D-STARのみでは電信電話の各種目へは参加できない(SWLと管内局部門・社団電信電話オールバンド種目を除く) ※管外局部門は個人局・社団局の区別をしない

部門	種目	コードナンバー
管内局	個人電信電話オールバンド	T-SMA
	個人電信電話50MHz帯	T-SM50
	個人電信電話144MHz帯	T-SM144
	個人電信電話430MHz帯	T-SM430
	個人電信電話1200MHz帯以上	T-SM1200
	個人電信オールバンド	T-SCA
	個人電信50MHz帯	T-SC50
	個人電信144MHz帯	T-SC144
	個人電信430MHz帯	T-SC430
	個人電信1200MHz帯以上	T-SC1200
	個人電話オールバンド	T-SPA
	個人電話50MHz帯	T-SP50
	個人電話144MHz帯	T-SP144
	個人電話430MHz帯	T-SP430
	個人電話1200MHz帯以上	T-SP1200
	個人D-STARオールバンド	T-SDA
	社団電信電話オールバンド	T-M
SWL電信電話オールバンド	T-SWL	
管外局	電信電話オールバンド	X-M
	電信オールバンド	X-C
	電話オールバンド	X-P
	D-STARオールバンド	X-D
	SWL電信電話オールバンド	X-SWL
D-STARレピータ利用部門	個人D-STARオールバンド	R-SDA
	個人D-STAR430MHzバンド	R-SD430
	個人D-STAR1200MHzバンド	R-SD1200

呼出 ○電信「CQ TKI TEST」 ○電話・D-STAR「CQ 東海マラソンコンテスト」 ※通常の呼出し応答による交信も可

コンテストナンバー ○管内局・管外局部門：RS(T) + バンドごとに001から始まる連続番号 ○D-STARレピータ利用部門：RS(T) + 自局が中継のために直接アクセスしたレピータ局のコールサイン(8文字) ※中継に使用したレピータ局のコールサインは、送信局または受信局が中継のために設定した(D-STAR無線機のRPT1に設定した)直接アクセスするレピータ局のコールサイン(8文字目のAまたはBまで省略せず記録)

得点 コンテストナンバーの交換が完全な交信(受信)を使用バンドにより次の得点 ○管内局・管外局部門：50～430MHzバンド1点 1200MHzバンド2点 2400MHzバンド5点 5600MHzバンド10点

10.1GHzバンド以上20点 ※同一局との交受信は、同一バンドにおいて電信・電話・D-STARそれぞれ1交信(受信)ずつ有効 ○D-STARレピータ利用部門：自局と交信(受信)局のレピータ局コールサインが同一(山掛け交信)の場合：1点 自局と交信(受信)局のレピータ局コールサインが異なる(ゾーン内、ゲート越交信)場合：2点 ※同一局との交受信は、交受信日、相手局の運用バンドのいずれかが異なればそれぞれ有効

マルチプライヤー 1 各バンドごとのサフィックスのラストレターの数(1バンド当たり最大26) ※ログシートのマルチプライヤー欄には、新たに獲得したラストレターを記入 2 運用日数(最大7) ※サマリーシートの局種係数の欄に記入

総得点 ○シングルバンド：当該バンドで得た得点×当該バンドで得たマルチプライヤー1の合計×マルチプライヤー2 ○マルチバンド(1200MHzバンド以上種目も含む)：各バンドで得た得点の合計×各バンドで得たマルチプライヤー1の合計×マルチプライヤー2

禁止事項 ○クロスバンド、クロスモード、レピータ等による中継交信(D-STARレピータ利用部門を除く) ○総務省告示の「アマチュア業務に使用する電波の型式及び周波数の使用区別」の逸脱(呼出周波数ではD-STARの運用はできません。呼出周波数でFMで連絡設定したうえで、別周波数でD-STARにより交信することは可能) ○JARL主催コンテスト使用周波数帯からの逸脱 ○同一の社団局による複数地点からの同時運用や、同一バンドにおける2波以上の電波の同時発射 ○個人局の2波以上の電波の同時発射 ○ゲストOPで運用した局の書類提出

注意事項 ○管外局同士の交信は得点・マルチとも無効(D-STARレピータ利用部門を除く) ○運用地点の変更は管内局・管外局ともに同一エリア内に限る ○2エリア内で複数の県にまたがって移動運用した時は、主に運用した県名を1つサマリーシートの意見欄に記入(主に運用した県についての考え方は、東海コンテストQ&Aを参照) ○同一局の二種目以上の書類提出は不可 ○個人局の免許人またはその社団局の構成員であれば、同一オペレータが複数の個人局・社団局で運用してもよい ○電波法令に違反しないこと ○鉛筆書きによるログ・サマリーは書類不備扱い ○その他はJARLコンテスト規約に準じる ○参加局は、コールサイン、氏名等が結果発表の際に公表されることがあるのでその旨了承

書類提出 ○JARL制定のログシート・サマリーシートまたは同形式のものを使用し、サマリーシートを一番上にし、左上をホチキスなどで留める ○社団局は運用者の姓名(またはコールサイン)・無線従事者資格を意見欄に明記。記入しきれない場合はサマリー裏面または別用紙(他の書類と同サイズ)に記入。運用者が1名であってもマルチオペリストの記入が必要 ○Webから書類を提出する場合には、JARL主催コンテストの電子ログと同形式とし、ログは必ず運用バンドごとにまとめて送信(目視による審査をおこなうため、ログシート部分ではできる限りバンド順に並べる) ○令和2年4月21日に一部改正された無線局免許手続規則において無資格者が有資格者の指揮のもとで臨時に

開設したアマチュア無線(社団局)の書類提出はできません(チェックログ提出による参加は可)

参加賞・完走賞、東海マラソン賞 希望者には次の賞を贈る・参加賞(コンテストに参加し、書類を提出した場合)・完走賞(開催期間中の7日間、1日1局以上と交信し、書類を提出した場合)・東海マラソン賞(2003年度以降、異なる年度の参加賞または完走賞を5枚集めた場合)○参加賞、完走賞は84円切手を貼ったSASE(長形3号、120mm×235mmの定型最大封筒に限る)に希望する賞名とコールサインを記入し同封。専用Webサイトから書類を提出した場合には別途送付。東海マラソン賞の申請方法は別途定めます

締切 11月30日(月)当日消印有効

提出先 専用Webサイトから提出する場合: <https://isotope.sist.chukyo-u.ac.jp/tkitst/tokai-log.html> ※専用Webサイトから書類を提出すると、簡易的なログチェックや即時受理通知も受けられます(左のQRコードからもアクセスできます) ○郵



送: 〒470-0391 豊田北郵便局 私書箱20号 JA2RL「東海マラソンコンテスト」係 「コンテストログ在中」と朱書

表彰 ○管内局部門: 参加局数に応じ1~5位を表彰、上位入賞に漏れた県別の1位局を別途表彰 ○管外局部門・D-STARレピータ利用部門: 参加局数に応じ1~3位の局を表彰、上位入賞に漏れたエリア別の1位局を表彰 ※表彰対象はJARL会員に限る

失格 ○同一バンドにおける重複交信(受信)局数がログシートに記載されている交信(受信)局数の2%を超え、かつ得点としている場合 ○審査の結果、提出書類に明らかに虚偽の記載が認められる場合 ○この規約に定める事項に違反した場合

問合せ 提出先までSASE、またはEメール(tkitst@isotope.iso.sist.chukyo-u.ac.jp)・HP(<http://isotope.iso.sist.chukyo-u.ac.jp/tkitst/>)で

[東海マラソン賞] 東海地方本部コンテスト委員会では、2003年度以降、長期に渡って東海マラソンコンテストに参加した局のうち希望者に東海マラソン賞を贈ります

申請方法 ○指定の申請書を東海地方本部コンテスト委員会Webサイトからダウンロードするか、申請先までSASE(定型最大封筒に84円切手を貼付)で請求○申請書に所定の事項を記入、集めた異なる年度の参加賞または完走賞5枚のコピー、申請手数料(切手200円分、例:100円切手2枚)とともに申請先まで提出※その年度の東海マラソンコンテストに参加した場合には、申請書をログと同時に提出しても構いません。この場合、その年度の参加賞または完走賞送付用封筒が同封されているときに限り、集めた参加賞または完走賞のコピーは4枚で結構です(残りの1枚はその年度の参加賞または完走賞で充当。郵送料金不足に注意。参加賞、完走賞送付用封筒が同封されていない場合は、充当による申請はできません)

申請先 〒470-0391 豊田北郵便局私書箱第20号 JA2RL「東海マラソン賞」係 ※「東海マラソン賞申請書在中」と朱書

本年度の申請期間 2020年11月1日~2021年3月31日(当

日消印有効)

注意 ○各年度の参加を証明する書類(コピー)は当該年度の参加賞または完走賞のいずれかで良い ○参加賞、完走賞のいずれも所持していない場合はその年度に関する申請はできない ○同一年度の参加賞、完走賞はそのいずれかのみその年度の参加証明として使用できる ○申請に関わった年度の参加賞・完走賞は、以後の東海マラソン賞の申請に使用不可 ○提出された書類は返却しません。参加賞、完走賞は必ずコピーを送る ○申請期間終了後の申請は次回の申請期間までお待ちください

静岡県

2020静岡県支部ARDF競技大会兼 静岡県高等学校ARDF競技秋季県大会

※新型コロナウイルス感染拡大の状況を踏まえ、参加される皆さんの安全性を考慮し、静岡県内に在住の方のみの参加とします

開催 11月15日(日) 受付8:45~9:15

開催場所 高天神城址周辺(新レイン予定) 静岡県掛川市

集合場所 大東北公民館 静岡県掛川市下土方

周波数 クラシック競技 3.5MHz帯部門(電波型式A1A)

参加費 JARL会員1,000円 非会員2,000円 ※大学生以下のJARL会員は500円、非会員1,000円(傷害保険料含む) ○食中毒防止のため各自で食事を準備 ※大会中止以外の返金は原則しません

競技クラス JARL制定のARDF競技大会規約による

競技方法 JARL制定のARDF競技の実施方法による

表彰 ARDF競技の実施方法に準じて表彰(個人表彰のみ)

申込み方法 ○郵送: JARL指定の申込書と返信用封筒(長形3号に84円切手を貼り、宛名記入) ○Eメール: JARL指定の申込書(PDF)を添付(返信封筒不要) ○参加費は無記名定額小為替もしくは振込 ※申込書は、JARL Webでも入手可

振込先 ○ゆうちょ銀行: 記号12390 番号62131221 日本アマチュア無線連盟静岡支部 ○他行から: 店名二三八(読み: ニサンハチ) 店番238 普通預金口座6213122

受付期間 10月1日(木)~10月30日(金)まで(必着)

その他 未成年者の携帯電話、緊急時使用にての携帯は可

問合せ Eメール: jq2xta@jarl.com 静岡県支部長 椿原

申込先 〒436-0019 静岡県掛川市青葉台22-5-1-101 JG2XWH 小川和裕 Eメール: jg2xwh@jarl.com

詳細 支部HPへ掲載 <http://www.jarl.com/sizuokaken/>
スタッフ募集 審判員の資格保持者、資格のない方も構いませんので、希望者は上記の問合せ先まで

共催 静岡県高等学校文化連盟

岐阜県

岐阜県支部大会・ハムの集い

今年度の、支部大会につきましては、新型コロナの影響により、会場等の制限もあり、規模縮小にておこないます

期日 11月15日(日)10:00~12:00
場所 木の国七宗コミュニティーセンター 加茂郡七宗町
内容 ○支部大会式典(事業、会計報告、コンテスト表彰) ○JARLコーナー、入会受付、QSLカード受付
※ジャンク市、展示コーナー、抽選会等は、おこないません ※今後の状況により、中止となることもありますので、支部ブログを参照

愛知県

ちびっ子電波体験教室2020

本イベントは5月24日(日)の開催を延期し、会場を変更しました

日時 11月8日(日)9:30~11:00 ゲーム受付9:30
ゲーム開始10:00

集合・受付 小幡緑地公園(本園)児童園前 〒463-0094 愛知県名古屋守山区大字牛牧

内容 電波を使ったおもしろゲームを実施し、電波の不思議を体験します。親子でいっしょに参加ください。災害発生時に活躍するアマチュア無線によるインターネット接続や、アマチュア無線局の公開運用もおこないます。小学生以下の上位入賞者には記念メダルを贈呈し表彰

参加対象 小学生児童と保護者(中学生・高校生の生徒も参加可) ※公園内を動き回ります。帽子と動きやすい服装での参加をお勧め

参加費 無料

申込先 <http://www.jarl.com/aichi/> ※赤色の支部イベント申込Webサイトへ進んでください

申込締切 10月31日(土)まで

注意 ○想定人数を越える場合は、締切前であっても申込みを終了することがあります ※お早めに申込みください ○新型コロナウイルス感染症に関して、申込時に「参加される児童および引率の方」すべての氏名、生年月日、住所、連絡先(電話番号)をお知らせください。余裕がある場合は当日受付もおこないますが、事前申込者を優先

後援 情報通信月間推進協議会 <http://www.jtgn.com/> (予定)

このイベントは、令和2年度「情報通信月間」の行事「F004」として実施します

3エリア

関西地方

京都府

第37回 KCWA CW コンテスト

日時 12月6日(日)10:00~20:00

参加資格 日本国内で運用する個人アマ無線局に限る

使用周波数帯 3.5/7MHz帯 A1(電信) ※JARL主催コンテスト使用周波数帯

参加種目 ○3.5MHzバンド ○7MHzバンド ○マルチバンド(3.5MHz, 7MHzバンド) ※参加種目は前記3種目のうち1種目に限り有効

呼出「CQ KT TEST」

コンテストナンバー RST + KCJ制定都府県支庁略称 + 001から始まる一連番号 ※一連番号は001からバンドごとに送信

得点 ○完全な1交信を1点とし、同一バンドにおける同一局との交信は1交信のみ得点を計上できる ○完全な交信とは提出されたログを互いに照合し、交信時刻、相手局名、送受信コンテストナンバーなどが一致すること ※ログ不提出局との交信は得点とならない
マルチプライヤー 各バンドで交信した、異なる都府県支庁略称の数

総得点 ○シングルバンド種目:当該バンドで得た得点の和×当該バンドで得たマルチの和 ○マルチバンド種目:各バンドで得た得点の和×各バンドで得たマルチの和

表彰 各種目1位に盾と賞状、2~3位には賞状

失格 ○クロスバンド交信 ○コンテスト中の運用場所の変更 ○2波以上の電波の同時発射 ○ゲストオペ運用交信 ○クラブ局との交信 ○規約違反:同一バンドにおいて同一局との交信に重複して得点を計上している件数、同一バンドで同じマルチを重複して計上している件数の合計が、得点を計上している交信数の2%を超えている時 ※ $(\text{重複交信得点件数} + \text{重複マルチ計上件数}) \div \text{得点 計上交信数} = 2\%$ を超えるとき

提出書類 JARL制定ログ・サマリーまたは同形式。効率化のためパソコンでログを印刷された方はFDなどを同封してください ○前記ログ・サマリーと同一内容がTXT形式に記録されたEメールまたはFDでも受付 ※FDラベルにコンテスト名、参加種目、コールサイン、署名を記入 ○シングルバンド種目参加局で、他のバンドでも交信した場合はそのチェックログを添付

締切 12月31日(木) 当日消印有効

提出先 ○Eメール: ネットでの紛失防止のため ja3dlm@jarl.com と kcwackwa@gmail.com の2ヶ所へ送信 ○メールの件名にKCWAと自局のコールサインを必ず記入 例) KCWA JA3DLM ○書類(封筒に自局のコールサイン明記、記録媒体同封歓迎): 〒607-8492 京都市山科区日ノ岡夷谷町17-80 JA3DLM 岡田昌昭気付 京都CW愛好会事務局コンテスト委員会宛

発表 JARL NEWS春号に掲載予定。直接入手希望の方は94円切手貼付のSASE(コールサインも明記)同封 KCWA HP (<http://www.jarl.com/kcwa/>) にも掲載

共催 関西ハムセミナー・JARL京都府支部・京都CW愛好会

< KCJ制定都府県支庁略称 > 宗谷SY 留萌RM 上川KK 旧網走ABまたはオホーツク振興局OH 空知SC 石狩IS 根室NM 後志SB 十勝TC 釧路KR 日高HD 胆振IR 檜山HY 渡島OM 青森AM 岩手IT 秋田AT 山形YM 宮城MG 福島FS 新潟NI 長野NN 東京TK 神奈川KN 千葉CB 埼玉ST 茨城IB 栃木TG 群馬GM 山梨YN 静岡SO 岐阜GF 愛知AC 三重ME 京都KT 滋賀SI 奈良NR 大阪OS 和歌山WK 兵庫HG 富山TY 福井FI 石川IK 岡山OY 鳥根SN 山口YG 鳥取TT 広島HS 香川KA 徳島TS 愛媛EH 高知KC 福岡FO 佐賀SG 長崎NS 熊本KM 大分OT 宮崎MZ 鹿児島KG 沖縄ON 小笠原OG 南鳥島MT

滋賀県

「ハムのつどい」中止のご案内

今年度も支部ハムのつどいを11月8日(日)滋賀県湖東地区で開催すべく準備をすすめてまいりましたが、昨今の新型コロナウイルス感染症の感染状況から、会場使用の使用条件では例年どおりの内容では開催できないこと、県内の感染者の増加等から考え、開催を断念することとしました。非常に残念ではありますが、開催中止のご連絡とさせていただきます。なお、ハムのつどいで予定しておりました、今年のALL滋賀コンテスト表彰式も中止となりましたので、入賞者の方々には郵送にて賞状等をお渡しすることとします。

また、ハムのつどいは中止としますが、ハムのつどいで配布しておりました資料は例年どおり作成し、11月8日以降には支部HPから印刷できるようにします。

次回開催時での皆様のご参加を楽しみにしております。

奈良県

製作技術講習会の開催を中止します

10月25日(日)に開催を予定していました「製作技術講習会」は、新型コロナウイルス感染症の、屋内で「3密」状態になることから、今年中止させていただきます。

「青少年のための科学の祭典2020」

奈良大会のブース出展中止

11月15日(日)に開催を予定されていた「青少年のための科学の祭典2020」奈良大会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止で、主催者側が開催中止を決定しました。今年の奈良県支部ブース出展はありません。

大阪府

第26回オール大阪コンテスト

日時 11月1日(日)○電信部門 06:00~11:30 ○電話部門 12:30~18:00 ○デジタル部門(RTTY/SSTV) 06:00~18:00

参加資格 ○大阪府内で運用するアマチュア無線局(大阪府内局) ○大阪府外の日本国内で運用するアマチュア無線局(大阪府外局) ○SWL局(府内・府外の区別なし)

使用周波数帯 ○JARL制定のコンテスト周波数帯、1200MHz帯・2400MHz帯のアマチュアバンド ※1200MHz・2400MHzの周波数帯は、総務省告示「アマチュアバンド使用区別」による ○SSTV・RTTYについては、免許された周波数帯とし周波数の制限はなし ※総務省告示「アマチュアバンド使用区別」による ○1.9MHz帯については、1.8MHz帯を使用せず、従来の1.9MHz帯を使用

呼出 [府内局]○電信「CQ OSKO TEST」 ○電話「CQ オール大阪コンテスト(こちらは府内局)」 ○デジタル「CQ OSKO TEST」 [府外局]○電話「CQ オール大阪コンテスト」 ○電信/デジタル「CQ OSK TEST」

交信の相手局 ○府内局：日本国内で運用する全てのアマチュア局 ○府外局：大阪府内で運用するアマチュア局に限る ※JARL局(JA3RL, JA3YRL/3)の運用

予定

コンテストナンバー ○府内局：RS(T/V)+大阪府内の市郡区ナンバー ※YL局、オペレーターの年齢が20歳未満の局は、大阪府の市郡区ナンバーの後に下記の記号をつける YL局、オペレーターの年齢が20歳未満の局：Y ○府外局：RS(T/V)+JARL制定の都府県・地域等のナンバー ※YL局、20歳未満の局の区別は府内局のみ ○JA3RL・JA3YRL：RS(T/V)+大阪府内の市郡区+Y ※JA3RLの場合池田市固定運用5992506Yまたは592506Y

参加部門・種目・コードナンバー

種目		電話		電信	
		コードナンバー		コードナンバー	
		府内局	府外局	府内局	府外局
シングルオペ	マルチバンド	FM-O	FM	CM-O	CM
	1.9MHz	—	—	C19-O	C19
	3.5MHz	F35-O	F35	C35-O	C35
	7MHz	F7-O	F7	C7-O	C7
	14MHz	F14-O	F14	C14-O	C14
	21MHz	F21-O	F21	C21-O	C21
	28MHz	F28-O	F28	C28-O	C28
	50MHz	F50-O	F50	C50-O	C50
	144MHz	F144-O	F144	C144-O	C144
	430MHz	F430-O	F430	C430-O	C430
	1200MHz	F1200-O	F1200	C1200-O	C1200
	2400MHz	F2400-O	F2400	C2400-O	C2400
	マルチバンド	FY/ YL/YM	—	CY/ LM-O	—
	SWL	FSWL		CSWL	
マルチオペ	マルチバンド	FA-O	FA	CA-O	CA

デジタル部門	府内局	府外局
SSTV マルチバンド	SSTV-O	SSTV
RTTY マルチバンド	RTTY-O	RTTY

交信中の禁止事項 ○クロスバンド・クロスモードによる交信 ○レピータによる交信 ○コンテスト中同一部門での運用場所の変更 ○個人局の2波以上の同時電波の発射 ○マルチオペ局の同一バンド内での2波以上の電波の発射 ○マルチオペ局が同一部門での複数地点からの運用。電信部門と電話部門の運用地は、異なっても可。デジタル部門は、上記どちらか一方の運用地と同じでなくてはならない ○本規約中にある使用周波数帯からの逸脱

得点 ○アマチュア局：バンドごとに異なる局との交信1点 ○SWL局：バンドごとに異なる府内局の受信1点 ※府内局のYL、オペレーターが20歳未満の局との交信(受信)2点 ○JA3RL・JA3YRLとの交信(受信)2点 ○府内局×府内局：1点 ○府内局×府外局：1点 ○府外局×府外局：無効 注1)府内局のマルチオペマルチバンド参加局においてオペレーターが、YL、20歳未満の場合も2点 注2)アマチュア局は、コンテストナンバーの交換が完全にされた交信を1点 ※同一バンドでの重複交信(同一バンドでの同一局との2回以上の交信)は、1交信を除き、モード(SSB・AM・FM)が異なっても得点としない 注3)SWLは、府内局のみの受信で送信局、受信局のコールサイン、送信局のコンテストナンバーの完全な受信を1点 ※同一バンドでの重複受信(同一受信局)は、1受信を除き、モード(SSB・AM・FM)が異なっても得点とし

ない

マルチブライヤー ○府内局：バンドごとに交信した異なる都府県・地域（大阪府を除く）、大阪府内の市区郡数の和 ○府外局：バンドごとに交信した大阪府内の市区郡数の和 ○SWL：バンドごとに受信した大阪府内の市区郡数の和

得点の計算 ○マルチバンド：各バンドで得た得点の和×各バンドで得たマルチブライヤーの和 ○シングルバンド：当該バンドで得た得点の和×当該バンドで得たマルチブライヤーの和

書類の提出 ○JARL制定のサマリーシート、ログシートを使用（同一形式可）※YL、20歳未満の局は、性別、生年月日（OMのみ）を、マルチオペレーター・マルチバンドは、運用したオペレーターのコールサイン・氏名・無線従事者資格を、サマリーシートの意見欄に記載 ※全部記載できない場合は、別紙に記載し添付 ○書類は、電信部門・電話部門・デジタル部門の各部門に提出できる。デジタル部門は、RTTY/SSTV両部門に提出可能（合計4種目に提出可）○重複交信を確認する資料（チェックリスト）を提出しなくてもよい ○入賞局については、次に掲げる資料などの提出を求めることがある ・チェックリスト ・ログデータファイル ○電子メールによる提出（Ver1, Ver2に対応）：JARL主催コンテストの電子ログに準じた形式で受付ける。集計のエラーを防ぐために、データは添付ファイルではなく、メールの本文のシートに貼り付け。メールの件名（Subject）は、貴局のコールサイン+参加部門コード 例）JA3RL CM-O, JA3YRL FM など。JA3RL C14（全角文字も可）

提出先 ○〒589-0022 大阪府大阪狭山市西山台5-2-19-203 中浴方 オール大阪コンテスト係 ○Eメール：allosaka-26@jr3yrl.net ※整理の都合から毎回変えている

提出締切 11月16日（月）当日消印有効 ※封筒表面に参加部門を記入 電子申請：11月16日24：00

表彰 ○各部門・各種目 ごとに参加局数に応じて、第1位～5位に賞状 ※JARL会員に限る ○入賞局への賞状はHPからダウンロード（PDF）とし紙の賞状は発行しない

参加記念 ○参加者のうち、希望者に支部作成の記念品 ○サマリーシートの意見欄に「記念品希望」と朱書し、SASE（長形3号封筒120mm×235mm）に返信先を記入し120円切手を貼る 参加者のコールサインを封筒下部に記載して請求 ○電子ログでの提出の場合は、SASEのみ前記提出先に、コールサイン明記のうえ、郵送

失格事項など 次の場合は、失格 ○同一バンド内で、重複する交信または受信局（モードが異なっても重複）がログシートに記載されている交信または受信局数の2%を越えており、かつその重複する交信、または受信局を得点として計上している場合 ○ログシートに記載されている交信、または受信局のコールサインなどについて審査の結果、明らかに虚偽の記載が認められる場合 ○この規約に定める事項に、違反した場合 ○コンテスト結果に対する異議申立ての受付は、支部HP発表後30日以内とする。協議の結果失格となった局は、失格の日から3年間、大阪府支部主催のコン

テストに参加しても入賞を認めない ○失格となった局については、コールサイン、失格の理由をHPなどに発表

登録クラブ対抗 支部登録クラブの構成員、そのクラブが開設する社団局（予め支部に登録された1局のみ）から申告された得点を登録クラブごとに集計し、参加クラブ数に応じて第1位～3位に賞状

結果発表 支部HPにて発表 <http://pws.sakura.ne.jp/jarlosaka/>

Report 体験臨時局で国内初交信



2020年7月4日（土）、8J3YAA アマチュア無線活性化イヤー2020体験臨時局の開局式・初交信をしました。場所は、池田市民文化会館（JCC2506）です。

7MHz SSBの無線機前には有資格者から説明を受ける、初交信第一号体験者とくらさん。有資格者がCQのあと「免許のない体験者が運用する体験臨時局」のアナウンス。一呼吸置いて応答があり7M3GHG局電波の相手が茨城県だと分かり、リポート交換や名前のやりとりが続きしました。

初交信をされたとくらさんには、第一号交信者証明書の発行をしました。

○来年3月末までの、体験臨時局を使って新たなアマチュア無線家を創り出すために近畿、精力的に2府4県で運用中です ○この体験臨時局は、4月21日に、総務省告示第百五十一号の告示（詳細略）によるもので、8J3YAAは6月25日に免許されました

和歌山県

テクニカル講座

日時 11月8日（日）13：00～17：00

場所 東部コミュニティセンター 大会議室 和歌山市 寺内665

テーマ nanoVNAを使用した自作アンテナの試作と調整について

内容 ○基礎編 SWR、アンテナマッチングそしてVNAならではのスミスチャート作画の基礎理論 ○実技編 試験用アンテナを使った調整の実際 ○1.9MHzアンテナへの応用 コイル、マッチング回路の試作例紹介 ○質疑応答・歓談 ○教材は「Elklikiv「2020最新進化版」アンテナネットワークアナライザ NanoVNA 10kHz-1.5GHz 4.0インチLCDデジタルディスプレイタッチスクリーン短波MF HF VHF UHFアナライザ定在波DIY」※Amazonで9,880円 ○当

日はプロジェクターに投射して説明しますので、購入は不要

問合せ先 jr3kuf@jarl.com 池上和彦

※新型コロナ感染状況により他府県の方の参加を制限する場合があります

兵庫県

令和3(2021)年オール兵庫コンテスト

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、移動運用については、お住いの自治体と移動先の自治体の指示に従ってください。マルチオペレータ運用の場合は、3密の状態にならないよう十分に配慮して運用をお願いします

開催日時 (JST) 令和3(2021)年1月4日(月) 09:00~21:00分まで

参加資格 部門別 ○兵庫県内局：兵庫県内で運用するアマチュア無線局 ○兵庫県外局：兵庫県外(海外からの参加も含む)で運用するアマチュア無線局 ○SWL ※行事等の開催に伴い、臨時かつ一時の目的のために運用するアマチュア局、国際宇宙基地に開設されたアマチュア局と通信をするために臨時に開設するアマチュア局(8Jまたは8Nのプリフィックスで始まる局)は、エントリーされてもチェックログ

使用周波数帯 JARL主催コンテスト使用周波数帯、1.9MHz帯、1200MHz帯 ※1.9MHz帯は1.9075~1.9125MHz、1200MHz帯は「アマチュアバンド使用区分」による

参加部門

部門		コードナンバー	
		兵庫県内局	兵庫県外局
電信	マルチバンド	I-CS-ALL	
	HFマルチバンド		O-CS-HF
	VUマルチバンド	I-CS-VU	O-CS-VU
	1.9MHz	I-CS-1.9	O-CS-1.9
	3.5MHz	I-CS-3.5	O-CS-3.5
	7MHz	I-CS-7	O-CS-7
	14MHz	I-CS-14	O-CS-14
	21MHz	I-CS-21	O-CS-21
	28MHz	I-CS-28	O-CS-28
	50MHz	I-CS-50	O-CS-50
	144MHz	I-CS-144	O-CS-144
	430MHz	I-CS-430	O-CS-430
	1200MHz	I-CS-1200	O-CS-1200
	マルチオペマルチバンド		I-CM-ALL
電信・電話	マルチバンド	I-MS-ALL	
	HFマルチバンド		O-MS-HF
	VUマルチバンド	I-MS-VU	O-MS-VU
	1.9MHz	I-MS-1.9	O-MS-1.9
	3.5MHz	I-MS-3.5	O-MS-3.5
	7MHz	I-MS-7	O-MS-7
	14MHz	I-MS-14	O-MS-14
	21MHz	I-MS-21	O-MS-21
	28MHz	I-MS-28	O-MS-28
	50MHz	I-MS-50	O-MS-50
	144MHz	I-MS-144	O-MS-144
	430MHz	I-MS-430	O-MS-430
	1200MHz	I-MS-1200	O-MS-1200
	QRP部門		I-MS-QRP
マルチオペマルチバンド		I-MM-ALL	O-MM-ALL
SWL	マルチバンド	I-MS-SWL	O-MS-SWL

注1) 電信・電話部門は「電信および電話」または「電話のみ」の交信 注2) シングルオペ部門のゲストオペレーターによる運用は認めない。この場合、マルチオペ部門にエントリー 注3) HFマルチバンド部門は、30MHz未満、VUのマルチバンド部門は、30MHz以上の使用周波数帯に限る 注4) QRP部門は空中線電力5W以下で、電信および電話を使用して交信する。全バンド使用可 注5) ゲストオペレーター(補助行為を含む)として運用をした者は、自己のコールサインによる運用は認めない 注6) 使用周波数帯の重ならない部門での2部門参加を認める 例) HFマルチバンドと144MHzシングルバンド、7MHzシングルバンドと21MHzシングルバンド等の2部門参加は可。HFマルチバンド部門とHF帯各シングルバンドの2部門参加は両部門ともに失格

呼出 [県内局]○電信「CQ TEST」○電話「CQ オール兵庫コンテスト」 [県外局]○電信「CQ HG TEST」○電話「CQ オール兵庫コンテスト」 ※呼出時に運用地点を入れるなどして県内局と県外局が区別できるように配慮

交信(SWLは受信)の相手局 ○県内局：全ての局 ○県外局：兵庫県内で運用する局に限る ○SWL：兵庫県内で運用する局に限る

コンテストナンバー ○県内局：RS(T)+JARL制定の市郡区ナンバー ○県外局：RS(T)+JARL制定の都府県・地域等のナンバー ○海外局：RS(T)のみ

交信上の禁止事項 ○クロスバンドによる交信 ○レピータを用いての交信 ○マルチオペ局の同一バンド内での2波以上の電波の同時発射 ○シングルオペ局の2波以上の電波の同時発射 ○同一部門での運用場所の変更 ○使用周波数帯からの逸脱

得点 コンテストナンバーの交換が完全にされた交信(SWLは受信)を1点 ※同一バンドにおける重複交信は、1交信を除き、電波型式が異なっても得点としない ※県外局(海外局を含む)同士の交信は無効

マルチブライヤー ○県内局：各バンドで交信した異なる都府県・地域等の数、兵庫県内の異なる市郡区の数(海外局との交信はマルチとしない) ○県外局：各バンドで交信した異なる兵庫県内の市郡区の数(海外局との交信はマルチとしない) ○SWL：各バンドで受信した異なる兵庫県内の市郡区の数(海外局との交信はマルチとしない) ※区は神戸市に限り有効とし、神戸市(2701)だけのカウントは無効

総得点 ○マルチバンド：各バンドで得た得点の和×各バンドで得たマルチブライヤーの和 ○シングルバンド：そのバンドで得た得点の和×そのバンドで得たマルチブライヤーの和

書類の提出 電子ログ(Eメール)による提出 所定の様式(JARL Webを参照)で作成したデーターをテキストメールとして提出先アドレスに送信。自作ログについてはJARL Webにおける電子ログ提出方法(解説)を守ること ○マルチブライヤー欄には、交信した都府県・市郡区・地域等のナンバーを記載 ○マルチオペ局は、運用者のコールサインまたは氏名を電子ログのサマリーシートの部分に記入 ○提出先：hgtest@khn.co.jp(電子ログの問合せ：hyogo@jarl.comへ) ○2部門参加の方は、2部門目のサマリーシートの提出者コールサインに-2(半角)を付加。メールの件名

にも提出者コールサインに-2を付加 ※-2以外は無効有効な記載例) JP3ELG-2, JP3ELG-2/3 無効な記載例) JP3ELG/3-2

提出締切日 令和3(2021)年1月18日(月)23:59まで
賞 書類提出局には各部門の参加局数に応じて次の順位の局に賞状 ○9局以下:第1位 ○10局以上:第3位まで
○奨励賞:兵庫県西,北部でコンテスト委員会が指定する市郡より運用し,10QSO以上をおこなった局の内から3局に粗品を進呈 赤穂郡,佐用郡,多可郡,揖保郡,美方郡,養父市,朝来市,宍粟市,加東市が該当

失格事項等 次の事項は失格 ①同一バンドにおいて,重複する交信(受信,マルチ)局数がログシートに記載されている交信(受信,マルチ)局数の2%を越えており,かつ,その重複する交信(受信,マルチ)局を得点(マルチ)としている場合 ②ログシートに記載されている交信(受信)局のコールサイン等について審査の結果,明らかに虚偽の記載と認められた場合 ③運用した場所(特に住所と運用地が異なる場合)が明確に記載されていない場合 ④この規約に定める事項,電波法,その他の法令に違反した場合 ⑤コンテスト委員会より必要な書類の提出を求められ,これを理由なく拒否したとき ⑥オール兵庫コンテスト委員会で失格と認めた場合 ○支部HPで発表したコンテスト結果に対して2週間以内に異議の申立てを受け,裁定の結果失格となった局,前項②に該当する局は失格の日から3年間は兵庫県支部主催のコンテストに参加しても入賞を認めない ○失格となった局は,コールサイン,失格の理由を支部のHPに発表 ○重大な違反と認めるときは相当期間遡って入賞を取り消すことがある

支部登録クラブ対抗 兵庫県内で運用されたJARL兵庫県支部登録クラブの構成員,そのクラブが開設する社団法人から申告された得点をクラブごとに集計,順位を決定
受付状況・結果発表 1月下旬にログを提出した局のコールサインを,2月中旬頃に結果の発表を支部HPでおこなう

その他 サマリーシートに記入されているコメントは,HP等で公表することがある ○提出された書類は

HP,イベント会場等で提出者のコールサイン等を伏せて公開することがある ○コンテストにおいて交信した際のQSLカード[※]の交換は,過去に同一バンド・モードですでに交信し,QSLカードの交換がされている場合など必要なもの以外は発行を控えるなどQSLカード転送作業効率化への協力をお願いします

変更点 ○1.9MHz電信・電話部門の新設(2021年より) ○紙ログ提出の廃止(2021年より) ○電子ログによる書類提出が浸透してきたため,エコポイント制度を廃止(2019年より) ○マルチオペリスト提出を義務化 ○規約の改定がある時は支部HP(www.jarl.com/hyogo/)に掲載

4エリア

中国地方

鳥取県

2020オール鳥取コンテスト

日時 10月4日(日)06:00~12:00

参加資格 国内のアマチュア局

周波数帯 3.5~1200MHz(3.8/10/18/24MHzは除く)

呼出 [県外局]○電話「CQ鳥取」○電信「CQ TT TEST」 [県内局]○電話「コールサインの後に県内局」○電信「コールサインの後に/TT」

コンテストナンバー ○県内局:RS(T)+JCC・Gナンバー
○県外局:RS(T)+都道府県ナンバー(北海道は01)

交信相手 ○県内局:鳥取県内を含む全日本の局 ○県外局:鳥取県内局

得点 ○完全な交信を1点 ○同一バンド内での重複交信は,電波型式が異なっても得点にならない ○クロスバンドによる交信は認めない

マルチプライヤー ○県内局:鳥取県内の異なる市郡数+鳥取県外の異なる都道府県数 ○県外局:鳥取県内の異なる市郡数

総得点 各バンドで得た得点の数×各バンドで得たマルチの数

参加部門・賞 ○県内局:個人局電信電話マルチ,個人局電信マルチ,個人局電信電話シングル,個人局電

JARL会費の継続は「コンビニ決済(番号方式)」で!! 支払手数料は無料です

会費のお支払い方法に,「コンビニ決済(番号方式)」が新たに加わりました。お近くの,次のコンビニエンスストアでご利用いただけます。

【ご利用いただけるコンビニエンスストア】

セブン・イレブン, ローソン, ファミリーマート, ミニストップ, デイリーヤマザキ, ヤマザキデイリーストア, セイコーマートの各店

この方法をご利用された場合,会費のお支払い手数料は「無料」です。

「コンビニ決済(番号方式)」をご利用の際は,あらかじめ「JARL会員マイページ」により,お手続きをおこなっていただき,Web画面やメールでお知らせする番号をメモや印刷した上で,コンビニエンスストアでの会費のお支払いをしていただきます。

お手続き方法の詳細などは,JARL Webの次のページをご参照ください。

▽コンビニ決済(番号方式)とは?

http://www.jarl.org/Japanese/5_Nyukai/cvs.htm

各店舗での会費のお支払い方法は,ご利用のコンビニエンスストアによって若干異なりますので,店頭で番号の控えを持参のうえ,お支払いの際に店舗のスタッフにおたずねください。

※会費継続の際にお送りしています「払込取扱票」によりコンビニで会費をお支払いの場合には,これまでどおり手数料がかかりますのでご注意ください。

※一部のコンビニエンスストアでは,コンビニ決済(番号方式)をご利用いただけない場合があります。

詳細は,前記「コンビニ決済(番号方式)とは?」のページをご参照ください。